

## 令和4年度 事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

オミクロン株等の新型コロナウイルスによる感染症蔓延状況が長引き、前年度と同様にその防止のため万全の対応策を図り、不安や緊張感の中、利用者の安全・安心を確保することができました。

当法人が運営する障害福祉サービス事業所「リッツ・カンパニー」（就労支援継続B型）の今年度1日当たりの平均利用者数は、令和2年度の16名と同様の16.3人となり、令和3年度の15.2人と比べ1名増となりました。

年度中に8名が新規利用し、6名が退所しています。退所の理由は、就労継続A型事業所への移動、病気及び障害の重度化です。また、新型コロナウイルスの影響は、一部ですが利用者の生活の場であるグループホーム内における他入居者の感染による当事業所への利用控えも少なからずあり、利用人員数に影響したものと考えられます。

就労作業にとっても新型コロナによるマイナスの影響が昨年度同様に顕著です。年度の後半には賃加工作業の注文量も増えてきましたが、低い労賃の賃加工主体の作業内容から自主生産作業へ移行する必要性が垣間見られた一年でした。

25名の利用登録ですが、障害の重さから週に1～2日或いは月に2～3日利用の利用者が複数いることも一日平均利用者数や一人平均工賃月額を大きく下げてしまう要因になっていますので、利用日を増やす支援若しくは、生活介護事業への移動も視野にした支援が来年度以降必要と思われるます。

コロナ禍で社会や他者との繋がりが希薄になった利用者は、当所での働きの機会を通して、社会との繋がりと作業の達成感及び生き甲斐を取り戻すための活動の場となり、当法人の運営理念である「障害のある方が笑顔とともに心豊かに地域で暮らすこと」の実現にも繋がっています。

障害のある方が働く喜びと生き甲斐をもって、地域で笑顔とともに豊かな生活を送ることができるよう人権を尊重した質の高い福祉サービスの提供とともに防災面で利用者が安全に安心して日中の活動ができるよう地震想定及び洪水災害に備えた避難訓練を実施しました。

法人の活動内容については、積極的な広報活動を行い、見学等の受け入れにも繋がりました。このことにより、障害者が地域において一般市民の一員として笑顔で心豊かに働いている環境を理解していただき、地域福祉社会の充実に小さな一歩であります。本年も貢献できたと思われま

### 1 事業の実施状況

#### (1) 第2種社会福祉事業

##### ① 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業

・就労継続支援B型事業【リッツ・カンパニー】 定員：20名

事業所番号：1910101847 適用年月日：令和10年5月31日まで

##### ② 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく一般相談支援事業

##### ③ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業

##### ④ 障害者及び高齢者の自立支援に関する事業

##### ⑤ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

#### (2) 重点事項／取り組み状況

##### ① サービスの充実と質の向上

- i 法人理念の実現をめざし、利用者のプライバシー及び権利を尊重したサービスの提供

- ii 苦情解決体制、虐待防止のための体制整備
- iii 安全で安心できるサービスが提供できるよう必要な研修を行う等、職員資質の向上
- ② 地域・利用者家族・関係機関、団体等との連携
  - 関係団体とのネットワークづくりと家族との連携
- ③ 法令遵守の徹底
  - 法令を正しく理解し、適切な対応に努め、社会福祉事業を展開するNPO法人として信頼を得る
- ④ リスクマネジメント活動の強化
  - i 事故防止のため、ヒヤリハット事例の収集、検討を常に行う
  - ii 主に水害等の緊急時に備えた対応マニュアルの整備と周知を図り、利用者の安全確保に努める
- ⑤ 人材育成と職場環境の整備
  - i 職員の人材育成のための人事考課制度の導入と職員間での情報共有及びケース検討会を実施
  - ii 明るく活気のある職場づくりと職員間の意志疎通や相互理解を促し、処遇改善への取り組み

## 2 会議の開催状況

### (1) 総会

#### ① 定期総会

- i 総会の決議があったものとみなされた日  
令和4年6月15日
- ii 議題
  - ・ 令和3年度法人・施設事業報告並びに決算報告承認の件
  - ・ 令和4年度法人・施設事業計画並びに予算承認の件
  - ・ 法人諸規程の改正の件

### (2) 理事会

#### ① 第1回理事会

- i 開催日時及び場所  
令和4年6月10日 11:00? 11:40  
リッツ・カンパニー多目的室
- ii 議題
  - ・ 令和3年度法人・施設事業報告並びに決算報告承認の件
  - ・ 令和4年度法人・施設事業計画並びに予算承認の件
  - ・ 法人諸規程の改正の件

## 令和4年度 事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

働く意欲がありながら障害等により一般就労の困難な方が、働く喜びと生き甲斐をもって、笑顔とともに心豊かな生活を地域で送れることを目的とした就労支援B型事業所「リッツ・カンパニー」の今年度の1日平均利用者は、16.3人でした。昨年と比べ1名増に留まりましたが、12月から1月は18人を越えていました。毎日利用されていた2人が退所、一人はA型事業所への移行、そして、片麻痺障害のもう一人は、家での転倒により骨折し退所となりました。

今年度になっても続く新型コロナの感染状況は、就労作業へのマイナスの要因で、工賃アップに繋がられない原因の一つとも考えられます。そして、25名の利用登録ですが、重度の内部障害や精神障害により、週に1日或いは月に2～3日の利用者が4名いることも平均工賃を下げる大きな要因にもなっています。

しかし、このような方々は、当所での働きの機会を通して、社会との繋がりや作業の達成感及び生き甲斐を感じ、ストレスの軽減が図られています。このことは、当事業所を運営する特定非営利活動法人福祉機構やまなしの運営理念である「障害のある方が笑顔とともに心豊かに暮らすこと」の実現にも繋がっていると思います。

支援面においては、ご本人やご家族の意向をしっかり聴き取り、ニーズに基づいた長期・短期の目標を設定し、日々の活動の中で常に利用者個々の意志や人格を尊重して、利用者ご本人が積極的、意欲的に取り組むことができるよう質の高い支援の充実に努めました。

個別の悩みや相談事について、職員は常にご本人の気持ちに寄り添い、自分のことのように感じられるようにする「共感」と個人の尊厳を大切にす視点での「傾聴」の実践に努め、個人の成長や生き甲斐等、心の安定をめざしました。

今年度も昨年度に引き続いてコロナ感染予防のため、トイレ、建物内の手摺り、食堂テーブルやイス、ドアノブの定時除菌と送迎車両使用後の除菌を徹底して実施し、利用者の健康維持に繋がりました。

就労作業面ではコロナの影響によって、昨年度に続き天然石を使用したブレスレットやキーホルダー等の自主生産品販売イベントの中止、受託作業の数量減等により収入面で厳しい状況でした。このため、令和2年度の一人平均工賃月額9,562円、平均時給額121円に対し、今年度は、平均工賃月額7,617円、時給額は102円という結果でした。

このような状況下、昨年度に試行したミシン作業による新たな自主生産品として、小学校入学児童の布製袋物の制作を8月以降本格的に行い、地元保育園への販売案内やネット通販サイトのBASE内にリッツ・カンパニーショップを設けるなどして、販売促進に努めました。結果として実績は思うようになりませんが、来期はSNSを使用して簡単にユーザーが情報をキャッチできるように工夫すると共に一般の方が使用する袋物の新商品や天然石使用の商品を企画して生産販売に繋がれるよう課題の解決に努めます。

防災面では、利用者が安全に安心して日中の活動ができるよう地震想定及び洪水災害に備えた避難訓練等を実施しました。また、その結果についても管轄の甲府市に書面報告しています。

### 1 事業目的と運営

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業の就労継続支援B型事業所として、利用者個々の意向に添って作成した目的を実現するため、提供する福祉サービスの質が高められるよう努力しました。

## 2 事業所の所在地

〒400-0047 甲府市徳行5丁目10-40

## 3 職員体制（令和4年3月31日現在）

(1) 施設長	常勤	1名（兼務：サービス管理責任者）
(2) 生活支援員	常勤	1名（介護福祉士）
(3) 職業指導員	常勤	2名（うち1名は作業療法士）
(4) 調理員兼職業指導員	非常勤	1名
(5) 業務員	非常勤	1名
計		6名

## 4 職員勤務体制

(1) 年間勤務日数	250日
(2) 始業・終業時間	8時30分～17時00分
(3) 週労働時間	37時間30分

## 5 運営の実績

(1) 利用者定員 20名

(2) サービス提供時間

時間	内容
8:30	事業所車両による送迎支援
9:30	活動開始（就労支援）
12:00	昼食／休憩
13:00	活動開始（就労支援）
15:30	活動終了 事業所車両による送迎支援

(3) 障害状況（R5.3.31現在）

主たる障害等	身体	発達	精神	内部	計
人数	8	4	11	2	25

(4) 年齢別（R5.3.31現在）

年齢（歳）	男	女	計
～19	0	0	0
20～29	0	1	1
30～39	1	3	4
40～49	3	2	5
50～59	4	5	9
60～69	6	0	6
70～79	0	0	0
合計	14	11	25
平均年齢（歳）	54.7	44.4	50.88

(5) 月別利用開始・解除者数（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開始	1	0	2	1	0	0	0	2	2	0	0	0	8
終了	0	1	1	2	0	0	0	0	0	2	1	0	7

(6) 利用状況 詳細：(別紙1)

月	開所日数(a)	登録利用者	延利用者数(b)	1日平均利用者数 (b)÷(a)	実利用率 (b)÷{(a)×定員数}
4	21日	24人	305人	14.5人	72.6%
5	19日	23人	287人	15.1人	75.5%
6	22日	25人	326人	14.8人	74.1%
7	21日	25人	350人	16.7人	83.3%
8	20日	24人	322人	16.1人	80.5%
9	21日	24人	344人	16.4人	81.9%
10	21日	24人	341人	16.3人	81.2%
11	21日	26人	344人	16.4人	81.9%
12	21日	28人	396人	18.9人	94.3%
1	20日	28人	359人	18.0人	89.8%
2	20日	25人	343人	17.2人	85.8%
3	23日	25人	367人	16.0人	79.8%
合計	250日	—	4084人	16.3人	81.7%

6 利用者支援

(1) 就労事業

① 工賃向上の取り組み

作業意欲の向上と生産効率を高めるための作業指導に努める。片麻痺の方の作業については、作業療法士が片手でも作業可能な作業補助器具を作成し、作業域の拡大に繋がる支援を行う。作業内容については、ロッカー鍵のシリンダーの組み立ては、正確性も備わって安定した作業となっていますが、コロナによる販売減が影響し、注文量も減少。

受託作業は、コロナ禍の影響で作業量が昨年度と同様に通年より大幅に減少する。

昨年度に試行し、今年度8月から本格的生産に入ったマシン作業でのオリジナル製品の企画・製作及び販売先の確保策については、ネット通販サイトに売り場を設ける。また、近隣の保育園にも商品パンフレットを作製し案内するが、満足のいく販売実績とはなっていません。

来年度には販売強化のため、SNSを顧客が身近に感じる情報として利用できるよに販促サイトのクオリティを高めて売上げ増を図る。

② 作業内容の充実と作業量の安定

工賃額向上及び安定した作業量確保の点から、自主製品の製作・販売に重点を置かなければならないことは昨年度同様に必須です。マシン作業の基本と布帛製品特性や制作工程手順及び技術の習得が来年度に繋がるよう更なる技術の向上に努めます。

受託作業については、低い作業単価をカバーすべく、生産性の向上を目指した作業用自助具制作を常に意識して就労支援に取り組むことが必要と思われます。

今年度、公表した一人当たりの月平均工賃支給目標額の10,000円は、全てではないがコロナ禍が大きい影響し、達成できませんでした。同時に、平均賃金を下げている要因の一つでもある利用者の出勤率の低さも改善課題です。

③ 令和4年度就労事業収支状況について

別掲 (別紙2)

④ 工賃支給実績(但し、県への工賃実績報告対象者人員数) 詳細：(別紙3)

対象者就労総時間数(A)	19,165時間
一人あたりの勤務すべき年間時間数(B)	1,250時間
上記時間数から換算した年間平均利用者数(C) = (A) ÷ (B)	15.3人
工賃支払総額(D)	1,949,910円
平均工賃時間額(E) = (D) ÷ (A)	102円

平均工賃月額	= (D) ÷ (C) ÷ 12月	10,620円
公表平均工賃月額	= (D) ÷ 対象者総月数 (256月)	7,616円

⑤ 作業内容

作業種目	内 容
自主生産品 (上記販売委託先等)	・天然石プレスレット・羽織紐、キーホルダー等の制作・販売 (北杜市白州町の温泉施設「べるが」内販売コーナー) ・小学生入学用布製バックの企画・制作・販売
受託作業	・ピアス仕分け作業 ・箱折組立て、紙製品の袋入れ作業等 ・ロッカー等の鍵シリンダー組み立て作業 ・自動車金属部品のバリ取り／検品作業 ・交通標識関係部品の一部組み立て作業 ・食品包装袋のラベル貼り作業

(2) 生活支援

必要に応じて利用者個人との相談時間を設け、素直に自分の考えや意見を出しやすい話し合いの場として、悩みや進路、家族のこと等について傾聴。本人の思いをしっかりと受け止め、職員との良好な信頼関係を築き、本人の想いに沿った支援に心掛けました。併せて、この面談を通して、利用者同士の障害等の理解や協調性による円滑な人間関係の保持に努めました。

室内の空気を常に入れ換えた環境を基本に、今年度もコロナ感染予防の仕切板の設置と食事時の会話禁止の継続、トイレ使用後や食事前における手指除菌及び送迎後の車両消毒の徹底を図る等、利用者の健康維持に注力した結果、家庭内感染者の一名だけでした。

(3) 健康管理／保健衛生

毎朝、職員の利用者への聴き取り、検温、除菌消毒等によって健康状態をチェックする。また、年に一回の健診希望者には、協力医療機関を紹介し実施する。健診結果に基づき、日中活動上において必要な支援を心掛ける。衛生管理については、衛生用品のペーパータオル、アルコール手指消毒、殺菌成分配合液体石けん（ハンドソープ）の設置及び当該残量の確認。トイレの清潔保持、感染予防のための清掃を次亜塩素酸消毒により活動時間帯の間3回実施しました。

新型コロナウイルス感染予防については、通常感染症の予防処置に加え、更なる時間を掛けた手指の消毒、咳エチケット、作業及び食事時には他者との席の間隔を空ける、作業室と多目的ルーム内のテーブルに仕切版の設置、送迎車の換気と建物内にサーキュレーターと空気清浄機をしようして、室内の換気に努めました。

(4) 主な行事等

実施月	内 容	場 所
10	総合防災訓練 11日	リッツ
3	職員健診6日～	山梨病院
	洪水想定避難訓練28日	リッツ→富竹中学校

7 会議

職員会議	年12回（毎月1回）
工賃業績評価会議	随時
個別支援計画策定会議	随時

防災会議	年2回（10月、3月）
ケース会議	年12回（毎月）
虐待防止委員会	9/21

## 8 実習の受け入れ

支援学校生	
わかば支援学校2年生（男）	9/26～9/30

## 9 安全管理、防災対策

消防設備点検を定期的に行い火災の予防に努めた。火災発生時並びに洪水時には、利用者の生命・身体の安全を確保できるよう各種マニュアルを整備し、マニュアルに沿った消防訓練や洪水時避難訓練を実施した。

電気関係、戸締まり点検	最終勤務職員 勤務終了時
消防設備及び避難路点検	防災担当職員 毎月4回
訓練の実施	総合防災訓練 11/2 洪水対応避難訓練 3/29
消防設備法定点検	委託専門業者（落合防災） 年2回
安全管理委員会	ひやり・ハット事例に基づき 12/21

## 10 職員研修

実施月	内 容	参加者	場 所
11	所内研修会（してはいけない支援） 26日	支援員全員	リッツ
2	所内研修会（人権について） 18日	支援員全員	リッツ

## 11 苦情解決体制

- |             |       |      |
|-------------|-------|------|
| (1) 苦情解決責任者 | 施設長   | 藤井 稔 |
| 苦情受け付け担当者   | 生活支援員 | 小俣麻美 |
| (2) 第三者委員   | 法人監事  | 三枝明仁 |
|             | 法人監事  | 新津英男 |
| (3) 苦情件数    | 0件    |      |

## 12 その他

- (1) 送迎用中古車両購入：日産セレナ（定員6名、車イス1台リフト付き車両）9月